

特別保護区の秋



植物のなまえを調べています



ヤブミョウガはつやのある黒い実

10月20日の活動日には地面が落ち葉に覆われ、いろいろな植物の実が色付いていて、小鳥たちにもうじき食べ頃だよと教えているようでした。今回は保護区内の秋の様子を特集します。



左からクチナシ、キショウブの実と種、オオハナワラビ、ヤツデは花盛り



左からムサシアブミ、ヤブラン、タマサンゴ



実が垂れ下がるマンリョウ



カキの葉も紅葉していました



特別保護区では、秋にはさまざまな木や草の実が実り、いろいろな小鳥がそれらを食べに来ます。小鳥が別の動物に食べられることもあります(右はヒヨドリの死骸)左のミカンも甘くなると小鳥の食べ物になります。ここでは生き物たちが主人公です。

◆このヒヨドリはなにに食べられたのか、推理してみました。ヒヨドリを食べそうな生物は下の三つだと思われます。  
【カラス、ワシタカのなかま、ネコ】  
このどれもが特別保護区にやって来る事が分かっています。  
死骸は来月にはどうなっているでしょう？



セミの抜け殻報告



今年の総数(不明種含む)  
1096 個

今年も8~11月に抜殻調査を行いました。今年の調査結果は右の通りです。これからも調査を続けて地域の環境変化と重ねて見ていきます。

	ニイニゼミ	ミンミンゼミ	アブラゼミ	ツクツクボウシ	ヒグラシ
8月	オス10メス2	オス97メス73 不明 1	オス257メス247 不明2	0	
9月	0	オス37メス12	オス98メス120	オス4メス6	オス1メス0
10月	0	オス1メス2	オス48メス36 不明 3	オス2メス1	0
11月	0	メス1	オス5メス3	0	0
合計	オス10メス2 合計 12	オス135メス88 不明1 合計224	オス408メス406 不明5 合計819	オス6メス7 合計13	オス1メス0 合計1

このほか不明  
27 個